



ヘブル語講座 **アウカルト**

【**インマヌエル**】 神が私たちと
ともにおられる

●イザヤ書には、神がなされる不思議なしとしての「インマヌエル」の預言があります(イ・14)。その意味は「神が私たちとともにおられる」です。このことは神の御子イエシュアによって実現されます。すでに実現したのですが、いまだ完全には実現していません。「イエシュア」は神の御子が人として受肉された名前であり、「救い」を意味します。「イン」に表裏があるように、「イエシュア」と「インマヌエル」という二つの名は、神が人の中に住まわれることを実現する名前です。つまり、「二つで一」なのです(マタイ1・21〜23)。

●神の民イスラエルがエジプトの圧政から救い出された目的は、彼らがすべての国々の民の中にあつて「祭司の王国」「聖なる国民」となるためでした(出19・4〜6)。その目的を実現するために、神は「幕屋」を建造することを命じました。「幕屋」は「聖所」とも言います。ヘブル語で「幕屋」は「ミシユカーン」、「聖所」は「ミクダシユ」です。「住む」を意味する「シャーカン」と「聖とする」を意味する「カーダシユ」に、それぞれ「ミ」という接頭語がついた言葉なのです。その接頭語「ミ」は「場所・器」を意味します。したがって「ミシユカーン」とは「神が住まれる場所私たち」(「ミクダシユ」は「神が聖とする場所(私たち)」という意味になります。「住む」「聖とする」のは神ご自身であり、私たちが人間が努力してできることではありません)。

●英語の動詞は一人称単数が基本形ですが、ヘブル語の動詞は三人称単数が基本形です。つまり神が主体です。その神が住まわれるところに私たちが招かれることで、私たちが神とともに住み、聖とされるのです。ですから、神の御子である「ことば」が「人となって、私たちの間に住まれた」(原文「幕屋を張られた」ヨハネ1・14)のです。つまり、「イエシュア(救い)によって、インマヌエル(神が私たちとともに)が実現されるのですが、その究極的な祝福は「新しいエルサレム」(黙示録21・2〜3)においてなのです。(銘形秀則)

はじめに神は…

<p>ヘブル語の第八の文字「ハット」は、羊の群れを入れる「囲い、柵」を象った文字で、</p> <p>Chet</p>
<p>羊を「集める」、「命を守る」という意味があります。</p>
<p>それは、天に上られ、やがて同様に引き上げてくださる。</p>
<p>主イエスが「集め、守られる」人々の「救い」を表しています。</p> <p>I テサロニケ 4:16~17</p>

(作・神田満)

編集後記 (史料・機関誌委員会から)

2022年、新しい年が明けましたね。いい年になることをみんな願っています。マスクもなくなってほしいし、教会でみんなで讚美し食事したい…など。

どんな歩みになるかわかりませんが、私達が知っているのは、どんな時もどんなところにも主イエス様は私達と共に歩んで下さるということです。また、同じ神の教会の兄弟姉妹がいるのです！ 教会を覚えて祈り合いましょう。2022年は、祈りの年としましょう!! (Y・A)

(お詫びと訂正)前号302号の金城沙愛姉の証で、所属教会を玉川神の教会と表示しましたが、戸山教会の誤りでした。お詫びし、訂正させていただきます。

発行者

宗教法人 日本神の教会連盟

東京都練馬区羽沢二―二―一九

練馬神の教会内

相原典之

編集者

沼 慎二

福岡県筑紫野市二日市北二―八―一六

日本神の教会連盟 二日市栄光キリスト教会

電話&FAX 〇九二(九二四)五〇九八